

設計の品質保証・コスト低減・納期短縮目標実現に必須の DR（設計審査）50例による 具体的な取組み法

日時 2022年8月26日(金) 10:00~17:00 (9:30 受付開始)

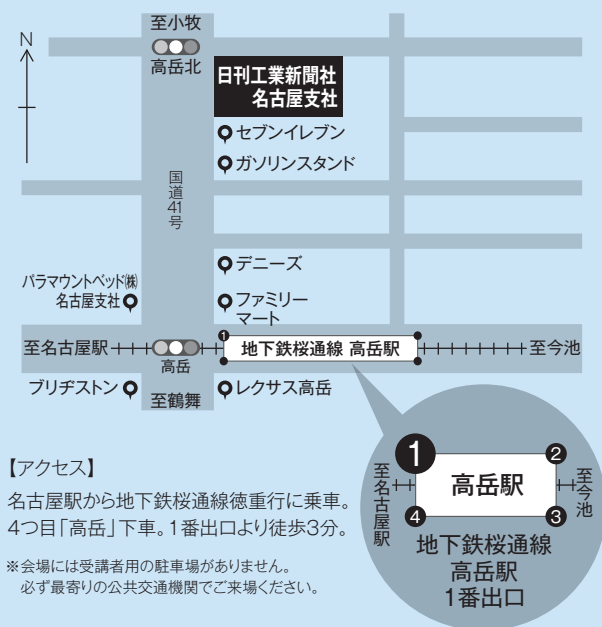
※昼食のご用意がございませんので、ご準備いただくか休憩時間内に外食いただきますようお願い申し上げます。(休憩時間の会場内飲食は可能)

会場 日刊工業新聞社 名古屋支社 セミナールーム 名古屋市東区泉2-21-28

受講料 44,000円 (資料含む、消費税込)
*同時複数人数のお申し込みは2人目から39,600円

※追加申込の際は備考欄に「複数割引適用希望」とご記載ください。
(記載が無い場合は通常料金のご請求となる場合がございます。予めご了承ください)
※日本金型工業会、中部プラスチック連合会の正会員の方は15%割引とさせていただきます。但し割引対象が重なる場合は、どちらか一つの割引を適用させていただきます。

日刊工業新聞社 名古屋支社 会場案内図



セミナー申込を検討中の皆さまへ

新型コロナウイルス感染症に伴うセミナー開催及び対応について、弊社WEBサイトにてご確認ください。

<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/view/3693>

受講にあたり

開催決定後、受講票並び請求書をご郵送いたします。
申込者が最少催行人数に達していない講座の場合、開催を見送りとさせていただきます。(担当者より一週間前を目途にご連絡致します。)

お申し込み方法

ホームページ (<https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search>) または、下記申込書をご記入のうえFAXにてお申し込みください。

受講料

セミナー開催日1週間前までに銀行振込にてお支払いください。
振込手数料は貴社でご負担願います。

キャンセルポリシー

開催日1週間前までの受付とさせていただきます。1週間前までにご連絡がない場合はご欠席の方もキャンセル料として受講料全額を頂きます。

申込・問合せ 日刊工業新聞社 名古屋支社 イベントG
TEL 052 (931) 6158 (直通) FAX 052 (931) 6159

受講申込書	8/26 DR (設計審査)		お申し込みは	日刊工業 セミナー	Q
			https://corp.nikkan.co.jp/seminars/search		
会社名	フリガナ		業種		
氏名	フリガナ	部署・役職	TEL		
所在地	〒		FAX		
備考			E-mail	<input type="checkbox"/> ※今後、E-mailによるご案内を希望しない方はチェックしてください。	
			<input type="checkbox"/> 日本金型工業会正会員 <input type="checkbox"/> 中部プラスチック連合会正会員		

個人情報の取り扱いについて

ご登録いただいた情報は日刊工業新聞社が細心の注意を払い、展示会・セミナー・サービス等、各種ご案内を送らせていただくことを目的に利用させていただきます。
なお、メールの宛先変更・配信停止をご希望の際は右記までご連絡ください。【連絡先】日刊工業新聞社 dbopr03@nikkan.tech
郵送による宛先変更・発送停止をご希望の際は、本紙を封入していた封筒のダイレクトメールの調査欄をご記入の上、本ページ中央部右下に記載の[申込・問合せ]連絡先へFAXにてご連絡ください。

開催主旨

あなたの所では、DR (Design Review=設計審査) をDR-0 (製品企画) 段階、DR-1 (基本設計と検証) 段階、DR-2 (詳細設計・評価) 段階とその都度丁寧に繰り返し実施しているのに、上市 (市場へ販売開始) 当初から様々なクレーム多発繰返しに手を焼いていませんか？ また開発過程段階で目標コストを中々実現できずに頭を抱えていませんか？ 更に当初目標とした開発期間の短縮を実現できず上市のタイミングを逃して競合他社に後れを取り悔しい思いをしていませんか？

クレームが多い原因は、仕様書へ構成品個々の目標寿命値設定が欠如している事と、寿命確認の検証試験欠如に原因があります。そのため市場・客先クレームによるクレーム対策費は各社売上げの2%を超え、機械・電機関連製品では、振動・衝撃劣化、疲労劣化、腐食劣化、摩擦・摩耗劣化、揺動・ねじり劣化、熱衝撃劣化の6項目が部品不具合原因の80%を占め、電装・計装・実装系不具合では、落雷高圧サージ電圧損傷、水滴付着繰返し絶縁劣化損傷、静電気放電発火・引火、電磁ノイズ誘導・誤作動、過負荷発熱焼損、部品ワイヤ断線、膨張・収縮半田剥離で機能停止の7項目が、原因の90%以上を占める現状実態があります。

また開発段階で目標コストを中々実現出来ない原因は、基本設計段階で原理・方式・構造・形状・材料・工作法・他の組合せの異なる多数の試作案作成による事前のコスト試算で横並び比較・評価して最良の目標コスト選択による実現法へ取り組んでいない事が大きな理由です。

更に目標開発期間を中々短縮出来ない理由は、個々の寿命確認試験へ加速試験法を活用・導入短縮して取り組んでいない事が原因です。

これらは、開発時に達成・実現すべき目標仕様 (構成品条件に対する目標寿命値と寿命経過後の目標信頼度値、目標コスト金額値、目標開発期間日数値) 設定時の不備と、複数開発試作案の作成と試算による横並び評価および試作品の検証実施による寿命確認実施方法の不備が主要な原因です。つまり何れも行うべき事を事前にきちんと行わずに取り組んだ結果の付け払いとして発生した、と理解する事が大切です。

何故担当者および関係者がDR時に行うべき事を行わなかったのか？ 何故当初目標として設定した事が実現出来なかったか？ 絶えず原因を見直し反省、改善する視点が欠如していた結果に他なりません。

本セミナーでは、DRを50のケーススタディテーマで具体的に取組み法をご紹介します講座と設定しました。現在実施中のDRの改善が必要とお考えの方に、是非ご参加をお勧め致します。

★セミナーのポイント★

- ・設計管理面から前向きDRの具体的取組み法
- ・開発品のクレーム未然予防対策としてのDR取組みのあり方・考え方
- ・目標コスト実現に必要な対策としてのDR取組みのあり方・考え方
- ・開発・設計期間短縮対策としてのDR取組みのあり方・考え方
- ・設計クレーム予防に必要な構成品の目標寿命値と信頼度値の設定法
- ・目標コスト確保に必要な構成品の横並びコスト比較・評価法
- ・目標開発所要期間短縮に必要な寿命確認加速試験実施法
- ・DRの具体的取組み法として50のケーススタディ

講師

伊豫部技術士事務所 所長・技術士 **伊豫部 将三 氏**

【略歴】 17年間富士重工業 (株) 三鷹製作所生産技術部門へ勤務、専用機設計等の工場自動化業務へ従事後、1974年4月伊豫部技術士事務所を開設、現在、工場生産合理化・IE改善業務、技術開発・製品設計部門・生産技術部門改善等のコンサルタントとして活躍中。関わった国内の企業数は上場・中堅企業を中心に100社を超える。韓国・台湾を中心に海外企業の指導経験も豊富。
所属学会・協会および役職・活動状況：(社) 日本技術士会へ所属・機械部長、理事を歴任。2003年度から日刊工業新聞社と(財)りそな中小企業振興財団主催「中小企業庁長官賞新技術・新製品賞」贈賞専門審査委員を6年間歴任。

【著書】 主な著書に「設計の凡ミス退治101」、「設計のムダ退治101」、「設計者の心得と実務101」、「設計のマネジメント101」、「設計の経験則101」、「設計の基本仕様51」、「設計の故障解析51」、「設計審査 (DR) 支援ツール集・I (事前審査編)」、他 (何れも日刊工業新聞社刊)

プログラム

- 1. DR組織運営および事前準備編**
 - 1・手戻り防止では、DRの主要任務を点検会から事前指導会へ重点を転換する
 - 2・客先指摘仕様洩れ手戻り予防では、基本仕様項目の主要部はDR会が作成する
 - 3・事前市場ニーズ調査では、先行競合品と併せ、新規見込み購買層調査も義務付ける
 - 4・先行技術調査では、先行メカ動向と併せ、新規参入見込みメカ有無動向調査も義務付ける
 - 5・開発仕様書の要求機能設定では、市場ニーズ調査から従来品に無い特徴機能設定を義務付ける ……他5項目
- 2. DRO (商品企画・開発仕様作成) 実施法編**
 - 6・開発仕様書と構想図作成段階で確認すべき項目
 - 7・開発仕様書案で確認すべき項目
 - 8・構想図案で確認すべき項目
 - 9・メカ系構想設計部位案で確認すべき項目
 - 10・制御・実装系構想設計部位案で確認すべき項目 ……他5項目
- 3. DR1の(1) (試作品設計と検証) 実施法編**
 - 11・試作品設計段階で事前確認すべき項目
 - 12・メカ系部位試作品設計案で事前確認すべき項目
 - 13・制御・実装系部位試作品設計案で事前確認すべき項目
 - 14・計測器系部位試作品設計案で事前確認すべき項目
 - 15・メカ系部位試作品案の検証で事前確認すべき項目 ……他5項目
- 4. DR1の(2) (基本設計着手時の不具合予防) 実施法編**
 - 16・基本設計で開発品と既存品組合せ部位の確認項目
 - 17・基本設計で環境条件の確認項目・その1
 - 18・基本設計で環境条件の確認項目・その2
 - 19・基本設計で環境条件の確認項目・その3
 - 20・基本設計で鉄系材料使用部位の確認項目・その1 ……他5項目
- 5. DR2 (詳細設計着手時の不具合予防) 実施法編**
 - 21・詳細設計で炭素鋼熱処理部品の確認項目
 - 22・詳細設計で部品形状の確認項目
 - 23・詳細設計で衝撃強さ確保の確認項目
 - 24・詳細設計で摩耗強さ確保の確認項目
 - 25・詳細設計でねじ締結部の確認項目 ……他10項目
- 6. 質疑とコンサルテーション**